



昭和23年4月制定

東京美深会

会報

第31号

2023/08/26

東京美深会

会長 佐藤悦啓



ひるふるさと美深との絆
残暑の候、東京美深会・
美深町並びに札幌美深会の
皆様におかれましては、時
下ますますご清祥のことと
お慶び申し上げます。また、
日頃より東京美深会へのご
理解とご支援を賜り深く感
謝申し上げます。

さて、昨年10月には「総
会兼懇親会」を3年振りに
当初予定しましたが、7月
中旬以降における感染力の
強い第7波の至来に伴い、
会員・来賓の皆様の『安全・
安心』を第一に考えて、苦渋
の決断でしたが中止と致し
ました。

そうした中で、昨年9月
中旬に美深町役場から、山
口前町長はじめ関係者一同

が別件で上京するにあた
り、10月に美深会役員との
懇親会の提案がありまし
た。その頃には第7波も落
ちつき、ワクチン効果及び
各人の自己管理も浸透して
いることを鑑み賛同させて
いただいた次第です。



写真は山口前町長の挨拶時



交流会の様子

会場は私学会館アルカ
ディア市ヶ谷において、美
深町より（当時）山口町長、
南議長、山崎商工会长、本
平ふるさと会会长、市村先
生、小野主幹の6名、美深
会からは役員17名が出席し
ました。3年振りの再会で、
和氣あいあいとした中での
有意義な懇親会となりまし
た。

また、今年に入りコロナ
禍も収まりつつあることか
ら、「ふるさと訪問」を4
年ぶりに計画し7月下旬の
『美深ふるさと夏祭り』に
合わせて泊三日・総勢16名
で訪問して参りました。私
自身、久しぶりのふるさと
訪問ということもあり、初
日の「あんどん行列」の観
覧、一日目の「交流会、ビー
ルパーティ」と、懐かし
いふるさとの風景と空気を
満喫すると共に、草野町長、
本平ふるさと会会长はじめ
多くの地元の方々と語り合
うことで、より一層の【絆】
を深めるべくふるさと訪問
となりました。

さて、東京美深会も早い
もので35年目を迎えて、今年
の10月には「第35回総会兼
懇親会」を開催致します。
今後はコロナ禍が收まりつ
つある中で、各人の自己管
理を継続していただきウイ
ズコロナと共に事業推進を
図って行きたいと思いま
す。また、ふるさと美深と
の絆として、会員の皆様の
「ふるさと納税制度の活用」
及び「山村留学制度への情
報提供」等を宜しくお願ひ
致します。一方で、従来か
らの懸案事項である会員増
強につきましては、皆さま
方の縁のある方に是非声を
掛けさせていただき、総会・役
員会等にお誘いいただけれ
ば幸いです。

最後になりますが、益々
の美深町の発展と皆様方の
ご健勝とご多幸を祈念し
て、会報に寄せての挨拶と
させて頂きます。



第35回
総会のご案内

日 時： 令和5年10月28日（土）
受付： 12時00分
総会： 12時30分より
懇親会： 総会終了後～14時30分 終了予定
会 場： 私学会館アルカディア市ヶ谷

東京都千代田区九段北四丁目2-25 TEL:03-3261-9921

美深町長 草野孝治



共に創つて一 美深の未来
東京美深会の皆様、お元気
ですか。

令和5年4月23日執行の美
深町長選挙において、「共に創
つて一 美深の未来」を田標に
掲げて、初当選させていただき
ました草野孝治です。美深
町長就任のご挨拶を申し上げ

るとともに、田嶺より東京美深
会の皆様からご支援いただき
いることにお礼申し上げます。

私は、昭和37年に美深町で生
まれ、昭和55年に美深高校を卒
業後、美深町役場に採用され、
農務課長、総務課長、教育長な
ど、町職員として43年間、町行
政に携わってまいりました。こ
の度、町長という重責を担わせ
ていただきました。これまでの経験を生かし
ながら、これまでの経験を生かし
ながら、町民の皆様をはじめ、東
京美深会の皆様からもご協力い
ただき、「ふるさと美深」と誇
ることができる、美深の未来を
共に創つていけるよう、町政の

先頭に立つてまい進する所存で
す。

依然として地方を取り巻く環
境は厳しい状況が続いており、
我が町も、少子高齢化や人口減
少は急速に進行し、人口は4千
人を割り、高齢化率も40%を超
えました。市街地の空洞化や鉄
路をはじめとした公共交通機関
の維持、公共施設の老朽化など、
解決しなければならない課題は
少なくありません。

基幹産業である農林業の振興
や新たな産業化を目指すチヨウ
ザメ事業の推進はもとより、北
海道遺産天塩川などの雄大な自
然を生かした観光産業など、美
深の特性や魅力を生かしたまち
づくりを進めるため、新たな情
報技術の導入やこれからまち
づくりを担う人材の確保・育成
など、積極的に進めていかなけ
ればなりません。

今年は、大正12年に町制が施
行されて100周年の節目の年
であり、先人たちが築いてきた
これまでの貴重な財産を生かし
ながら、第6次美深町総合計画
で掲げた「未来へ続く笑顔あふ
れるまち美深」を達成するため、
皆で知恵を出し合い、色々なこ
とにチャレンジしてまいります。
新型コロナウイルス感染症も

皆様からもたくさんの方
ディアやご意見を賜り、今後
も「ふるさと美深」の大応援
団としてあらゆる機会でまち
をPRいただければ幸いです。

皆様のご健勝とご活躍を
祈念申し上げ、会報への寄稿
をいたします。



美深町議会

議長 南和博

てまさにこの3年間は故郷が遠
く感じたことと思います。

5月8日からは新型コロナウ
イルス感染症の位置づけが5類
となり、少しずつコロナ禍も収
束に向かいつつあります。

昨年は役員の方々との交流を
東京で開催でき、絆をつなげる
ことができたと思います。

「故郷は遠くに有りて思つむの」
と語りますが、コロナ禍によつ
て会合を記念して

から願うばかりです。

7月には夏まつりに合わせて
多くの会員の方々にご帰町して
いただき、故郷を満喫していただきたいと思います。

4月の統一地方選挙で16年間
務められました山口信夫町長が
勇退され、新町長に草野孝治氏
が就任されました。

町議会議員選挙も4人の新人
が当選され、20代30代の議員も

誕生し全道で4番目に若い平均
年齢53・8歳の議員構成となり
ました。

人口減少、少子高齢化の課題
はあります。町民が世代交代
を期待している表れと感じてい
ます。

その期待に応えるべくまちづ
くりに取り組まなければならな
いと思います。

今後とも東京美深会の皆様に
みにしております。

皆様に再会できることを楽し
ます。

今後とも東京美深会の皆様に
みにしております。

北海道ふるさと会連合会
会長 新家鶴男



美深町 素晴ひしー。

美深会の皆様、今日は。私は、去る4月15日の連合会総会において3期目、2年の会長を仰せつかりました。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

さて貴会では、10月28日に連合会もやつと諸行事等ができるようになりました。今年は出来る行事は全てやる予定です。もうしばらくお待ちください。

皆様のふるさとは「未来へ続く笑顔あふれるまち美深」「農林業とチヨウザメのまち美深

4年振りとなる「第35回定期総会」開催の計画をされていふと聞いております。無事に開催されますようお祈りいたします。また平素から連合会の諸行事にご支援ご協力を賜りますこと、紙面をお借りして御礼を申し上げます。



社会福祉法人美深福祉会
理事長 園部一正

変化していくのかは今の時点ではまだまだ分かりにくいたころもありますが、いずれにしましても間違いくなくコロナ渦前の状態には少しずつ近づいていくと思われます。

東京美深会の皆様方とは久しうお逢いすることも出来ず、その後もお元気にお過ごしでしょ下がれました。今後そのよう

な対応で社会環境がどのように

うか。

美深町もう1月の連休中にすべ

らが満開となり観光協会主催の花見が5月14日に開催され桜の下での飲み会も行われる予定です。

また、夏祭りも例年通りに開催される予定です。

皆様方もご存じかと思いますが、4月23日に任期満了による統一選挙が行われ町長及び町議会議員が新たに誕生しました。

会議員が新たに誕生しました。

こと。近い将来、きっと「キャビアのまち美深町」として、全国的に注目されるのではないか。

もう一つは、「トロツコ王国」です。昭和60年、日本一の赤字ローカル線で廃止となつた「美幸線跡」を利用してトロツコに乗れる。平成10年に開国し往復10キロメートルの本物のレールの上を、エンジン付きトロツコ(スタッフが運転)に揺られながら、自然豊かな緑のトンネルをくぐり鉄橋を渡る、美深にしかない「走る森林浴」が体験できる。他にも、「松山湿原」

私は、常々連合会は「気さくな楽しい愉快な仲間の集まり」であり、その仲間が団結・絆を深め、北海道それぞれのふるさとの発展のために頑張る応援団だと思っています。一緒に樂しい会にしてしまおしょう。

た山口町長が任期満了(四期16年)で退任し、草野新町長(無投票)が誕生。町議会議員は二十代から三十代、四十代の候補者が当選し従来の議員の平均年齢は約十歳も若返りました。

私も今後の美深町の町づくりに大変期待をしていふところであります。

そしてこれからも東京美深会の皆様方との太い絆は変わら

すことになりますので今後ともよそしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、東京美深会の皆様方には益々のご健勝と更なるご活躍を心から願うと共に東京美深会の今後益々の隆盛を心からお祈り申し上げます。



美深町商工組合

会長 山崎 晴一



ひのわと美深から

東京美深会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。ここ数年来新型コロナウイルス感染症の猛威によって、ふるさと美深へのご来訪や、ひなづから東京美深会の総会への参加も見送られ、皆さまにお会いす



「会報に寄せ」

美深町観光協会

会長 齊藤 宏行

任期中よろしくお願ひ致しま

す。

田舎よりふるさと美深町に対しまして心温まるご支援を頂いていることに心より感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、観光協会の事業も2年間

中止となりましたが、昨年より形を変えながらも事業を行つこ

とが出来ましたことに、この場

をお借りして、役員各位・役場商工観光・事務局の皆さんにお

藤です。東京美深会の皆様、6期12年の長きに渡り美深町の観光の為にご尽力された山崎前会長に代わり昨年4月に会長に就任いたしました齊

ることでない状況が続いてきました。コロナ禍によって、人々の生活様式や経済活動も様変わりしましたが、直接お会いして談笑することの楽しさ、あるいは絆を一層深めるということが痛感していたところです。

ここにきてようやくコロナ禍も沈静化しつつあり行動制限の廃止に伴い経済活動が復活の兆しを見せてします。

美深町の商工活動も、住民の出控えによる消費行動や投資活動が停滞するとともに、ロシアのウクライナ侵攻に起因した物価高騰は、一層の消費行動停滞に繋がり大きな影響を受けてき

ましたが、町の支援を受けながら消費拡大となる「アレミニアム商品券」や飲食・宿泊に特化した「まんべく券」のほか、電気料値上げに対応したLED照明への交換経費補助、そして商工業者の自助努力によってこれまで経験したことの無い時代を乗り越えてきました。人口減少は

続いており商工業者にとっては、今後もさらに厳しい時代が続き、廃業も止むなしといった感は否めませんが、一方では、若手経営者の飲食店等の開業もあり、知恵と工夫で新たな商工活動に活路を見出す動きも感じられます。商工会としても

大いに期待するとともに、経営支援を取り組んでいきます。さて、話は変わりますが、皆さんは恩根内公園（笠原公園）に建立されている「柳谷謙治記念碑」を御存じでしょうか。先日、北海道新聞に「五十六の最期」平和願う！と題した記事が掲載されました。ご存じの方もおられると思いますが、柳谷謙治さんは恩根内のご出身で、太平洋戦争中、旧日本海軍の山本五十六聯合艦隊司令長官搭乗機を護衛した6人の零戦パイロットのうち、唯一生きて終戦を迎えた方であります。山本五十六司令官が死去してから80年を迎え

るにあたり、この記念碑が新聞紙面で紹介されたところです。故郷美深の地に「不滅の零戦魂の流れとともに記憶も風化してしまいかがちですが、美深町訪問の折には、是非、恩根内公園に足を運んでいただき、記憶に刻んでいただければ幸いです。

結びになりますが、東京美深

会のさらなる発展、また、皆さま方のご健勝とご多幸を祈念申し上げるとともに、ふるさと訪問での再会を心待ちにしております。

が減つてしまいましてが其れでも頑張つてじる、活気ある故郷をお見せできるべく関係各位と連携を取り会員各位頑張つていただく所存です。

最後に東京美深会、会員の皆様方のご健勝を心よりご祈念申し上げ会報の投稿とさせていただきます。

町民の皆さんに楽しんでいただけます。

今年も最初のイベントとして

5月14日に、さくら祭りが行われますが大雪だったのにかかわらず雪解けが早く何時もより開花が早く、さくらは散りかかっていますが、北海道の定番であります、花見で「ジンギスカン」を食べ、初代美深町観光大使

シンガーソングライター桜庭和

6期12年の長きに渡り美深町の観光の為にご尽力された山崎前会長に代わり昨年4月に会長に就任いたしました齊

藤です。東京美深会の皆様、

6期12年の長きに渡り美深町の観光の為にご尽力された山崎前会長に代わり昨年4月に会長に就任いたしました齊

藤です。東京美深会の皆様、

6期12年の長きに渡り美深町の観光の為にご尽力された山崎前会長に代わり昨年4月に会長に就任いたしました齊

藤です。東京美深会の皆様、

6期12年の長きに渡り美深町の観光の為にご尽力された山崎前会長に代わり昨年4月に会長に就任いたしました齊

藤です。東京美深会の皆様、

札幌美深会

会長 因田 英世



東京美深会
第31回会報に寄せた

東京美深会の皆さん、創立35周年を迎えることを心からお祝い申し上げます。

この3年間はコロナ禍にあって、諸行事等は中止を余儀なくされ、また日常生活にも支障をきたし、大変な3年間だったと推察いたします。我々札幌美深会もこの3年間「ふるさとの集い」の中止を余儀なくされ、今年8月5日に4年ぶりの開催を予定しております。

また、この35年間、会の運営にご尽力されました役員並びに会員の皆様に対し深く敬意を表すとともに、日頃から札幌美深会に対し、ご指導ご助言を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も東京美深会と連携し、ふるさと美深町との絆を大切に、交流を深めながら、ふるさとをピーアールしていくとともにできる限りふるさとの行事に参加していきたいと思っております。今年も4月16日に4年ぶりに開催された第25回白樺樹液春

まつりに参加させていただき、白樺樹液の採取を体験させていただきました。当田は、前田とはうつて変わり、仁宇布の会場は10センチ以上の雪に見舞われましたが、久しぶりに雪の中の樹液採取を体験させていたしました。

今後とも、これまで育てていただきふるさと美深町に恩返しをしていきたいと考えております。また、

今回の町長選挙で草野新町長が誕生し、更に絆を大切にしながら、ふるさと美深町を応援していきたいと

思つております。

高齢化社会の中にあって、我々一人一人が健康で日々の暮らしを楽しむものであることで、同郷の仲間が集い、交流の輪がさらに大きくながらることを期待しております。

私事で恐縮ですが、満77歳の喜寿を

4年ぶりの

ふるさと訪問

令和5年7月21日～23日



びふか温泉（7/21～23）



あんどん行列（7/21）



畠田ファーム（7/23）



美深ハーブ園（7/21）



天塩川カヌーくだり（7/22）

美深ハーブ園から

美深町集落支援員
市村 匡史



美深ハーブ園・

農業支援塾と共に

美深町に移住して丸十二年になりました。その間、ハーブ園は多少整備され、新規就農者や若手の後継者を対象とした農業支援塾を開設することができました。こうした活動を十二年も継続できましたのは、東京美深会や美深町の皆様方の温かいご支援のお陰と感謝致しております。

ハーブ園は2016年に単純な列植えから利用法ごとのエリアを設けるために全面植え替えを行い、同時に通路にチップを敷き、十八年には東京美深会の役員の皆様にも参加していただいたて開設二十周年の記念イベントを行い、十九年には薬草コーナーを増設するなど、少しづつ整備を進めてきました。また、その間に国道沿いにハーブ園の手作

り看板の設置や、手洗い場のリニューアル、休憩ベンチの増設、旧薬草園時代のあずまやのハーブ園奥への移設等をしていただきました。コロナ直前にはハーブの精油採取の体験講座を計画し、その前段階として役場職員のご家族に体験していただきましたが、コロナの感染拡大で実現していません。この他にも、中断している年四回のハーブ講座再開や、コロナ中も来ていただいた旭川や剣淵方面の方々からハーブ園でのイベントの連絡がほしいという要望もいただいています。以前は、町内以外では浜頓別や稚内方面の方が通りがかりに寄つていただく程度でしたが、最近では名寄はもちろん旭川方面からも、ハーブ園を日当てに来ていた様子になります。今後はハーブ講座も含め、体験型のハーブ園を目指していくたいと思つています。

美深町農業支援塾は開設から八年が過ぎました。第一期生は十名以上いましたが、毎年新規就農者や後継者がそれ

たことから、続いても数年と思っていました。しかし、今年の一年生も七名います。開設後に下川町や音威子府村との連携が始まりましたこと、もあって継続できています。栽培技術を中心とした座学その他、加工実習、先進産地や研究機関の見学、先輩農業者だけでなく同年代の農業者とも接する場を設けるようにしています。北海道は人口減少に伴つて規模拡大が進んでいますが、これは新規就農者の孤立に繋がるだけでなく、地域で共有されてきた智慧が失われてしまふ心配があるからです。

従来の農法を踏襲しつつ、新しい技術や経営手法にもチャレンジして欲しいものと思っています。



農業支援塾 下記特別講座



美深ハーブ園 開設 20 周年



農業支援塾 修了式



新標柱のお披露目

わがふるさとの思い出

東京美深会
鈴木 武昌

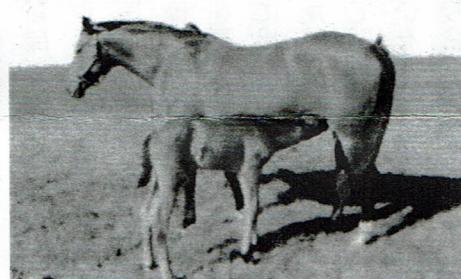
菊丘

春は銀色に輝く硬雪から始まる。どこまでも続く広大な白い雪上に犬ぞりを自由に走らせる。溶けた滝（せせらぎ）から、猫柳が顔を



犬ぞり

せんが戦前までは、軍馬を出産した広大な放牧場も、時は流れ農耕馬やサラブレット、大型重量の競馬競走の馬も仲間に入る。日当たり良い傾斜地は豊かな牧草が実り、深い沢には木々が覆い、清水が流れ。孕んだ牝馬達は母体に優しい出産に恵まれた環境を菊丘は創り上げていた。父が、



お馬の親子

と、まだ見ぬ父は、終戦になつても戻らなかつた。放牧場周辺には、桑の実、山ぶどう、こくわ、グミ、梨などを食べ歩いた。山林に囲まれたストレスの少ない緑豊かな放牧場では、祖父や牧夫の皆と獣医達は6月頃まで仔馬が次々に生まれ、麗しい馬の親子の姿に癒やされます。皆優しく穏やかです。

2～3ヶ月過ぎると好奇心旺盛な仔馬たちは近寄ってきて、甘えて田を細め頭や鼻を寄せてくる。

いつの間にか、自分を忘れ、まるで兄弟のように巒(くつわ)とたずな、のみで鞍を付けずに乗馬も出来ます。

この辺りは、殺虫剤の原料になる可憐な黄色の芯に白い花びらを付けた除虫菊を栽培しています。

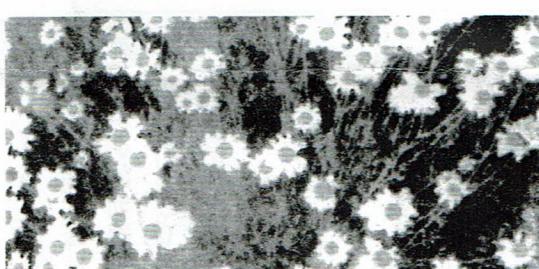
松山湿原
Matsuyama Marsh

今はその名を留める物は何も無く、そのわずか一部が町営スキー場の近くに菊丘公園として残されています。

出し、コブシの花が迎えてくれる。雪解けを待ち、各地から多くの馬達が菊丘にやって来る。むかし除虫菊を栽培した山は、あまり知りていま

昭和13年豊橋予備士官学校を出て、赴任する前3日間の帰省が許され、母との逢瀬で翌年私が生まれ、任官した中国湖北省の武昌（ぶしょう）（現、武汉市武昌区）その街の名を息子に付けた。いつも母は「里の秋」を

放牧場の一一番高い丘（天空の丘）に登ると、緑に染まった畑



除虫菊



令和2年2月のハルニレの樹

美幸線の思い出

東京美深会
中里早苗



今、美深町は4,000人には満たない町になつてしましました。私が生まれ育った頃は15,000人をこえて、同級生も300人も居ましたから顔と名前が一致しないまま大人になりました。

私は一応町の中心に住んで居ましたが、汽車通学の生徒達は、朝夕駅の中でぎわっていました。

そんな中、新たな線路として、美深と校幸をつなぐ美幸線の計画が始まっています。

私が中学一年の頃です。開通式当日は町を挙げてお祭り騒ぎ、あんどん行列を繰り出し、鼓笛隊のパレード、大人も子供もお祝いムード一色でした。

人をこえて、同級生も300人も居ましたから顔と名前が一致しないまま大人になりました。

私は一応町の中心に住んで居ましたが、汽車通学の生徒達は、朝夕駅の中でぎわっていました。

そんな中、新たな線路として、美幸線の計画が始まっています。

私が中学一年の頃です。開通式当日は町を挙げてお祭り騒ぎ、あんどん行列を繰り出し、鼓笛隊のパレード、大人も子供もお祝いムード一色でした。

ところが、赤字になることが避けられないため廃線が決まりました。残留を守ろうという運動の盛り上がりはその目的を達しなかったものの、日本一の赤字路線の町として、新聞・テレビ・ラジオが取り上げ、美深の名が全国に知れ渡りました。

その時の名物町長（？）は美深を売りだす為、東京。大阪に出向き切符の販売をしたり、花嫁募集作戦として、美幸線での団見合いを実現、汽車の中で知り合ったカップルが結婚にこぎ着けたようです。

美深を売りだす為、東京。大阪に出向き切符の販売をしたり、花嫁募集作戦として、美幸線での団見合いを実現、汽車の中で知り合ったカップルが結婚にこぎ着けたようです。

現在は、廃線を利用してトロッコを走らせ、夏場の観光スポットとして全国よりお客様を迎えて、風を切つて楽しんでいるようです。日本一の赤字路線となりましたが、今はトロッコ天国として輝いている美深です。



仁宇布駅では集落の住人総出で迎えた

ふるさと美深のこと



蒸気機関車、それが走った地域の人々に夢と希望をもたらしました。



JR美幸線 (美深～仁宇布間、部分開通) の着工に町見合いを実現、汽車の中で知り合ったカップルが結婚にこぎ着けたようです。



東京美深会
五十嵐 トシ子

停留所は富岡、班渓、吉野部落から通勤通学の朝の乗降客の100人以上がすし詰め状態で乗り込みました。

国道から500メートル、ディーゼルカーが見えてからでも乗ることが出来ました。懐かしい停車場も、近隣の停車場と共に廃止になると

なったのは、今から半世紀前の事です。「美幸線開通」(昭和39年10月5日) 美幸線は、枝幸まで伸びることは叶わず、日本一位の赤字路線にもなり、開通を喜ぶ町の人達と浮き浮き、試乗のひとりと

もう10年も前になりますが、東京美深会恒例の故郷訪問の際、恩根内に建立されている松浦武四郎の「天塩日誌記念誌」を訪れました。

そして数年前に世田谷静嘉堂での松浦武四郎展を中里美深会副会長のご両親(式部義昭氏、永く美深町に奉職され町史編さん)は氏によるものです)と見た時の事、式部さんがどなたかとお話をされ切ったとのことです。

当時の町の人口は、14,000人ぐらい。ちなみに、今年の国勢調査では、4,000人を切ったとのことです。

当時JR京谷線、初野(は

と訪ねたところ「埼玉在



松浦武四郎もこのなりで?

住の武四郎のお孫さんご夫婦」とのこと。ビックリしました。私は、「写真の武四郎さんに似てらっしゃいますね」お孫さんに当たる方は、私と同じ年齢くらいかな?。「親族の中で一番似ていると言われます」との事、お別れの際は、入り口でお一人が手を振つてズーと見送ってくれました。「英雄の選択」「北海道の名付け親」などのTV番組で紹介された、アイヌの人達への対応、江戸時代の末期、明治の日本にあつて、武四郎の人となりを知り凄い人!、原野の美深まで足を踏み入れてくれた事に言葉にならない畏敬の念が湧き上ります。

新理事、新会員紹介

理事 大賀圭治

「コロナ機の前に、東京美深会の故郷訪問に数回参加したところ、役員会後の懇親会の案内があり、幼少時から兄のよう慕ってきた山崎実さんには会える機会との思いから、参加させていただきたい」といふ、このたび理事に推薦いただきました。

理事 新貝 清



私の生家は美深の8線通りの大通りから美深橋の方向への道で、小学校へは畠道を抜けるとわずか徒歩2分のところにあり、小学校の校庭周辺部を中心、東西の8線の山、美深橋周辺の天塩川、道筋の小川、田畠が遊び場で、学校後は暗くなるまで遊びに夢中でした。昨年3月末に妻に先立たれ、老いの寂しさを感じており、故郷と共にすます。皆様と一緒に、歓談する機会を楽しみにしてい

る度、東京美深会の理事を賜わりました「新貝」と申します。人生100年時代を迎え、不細工で老いた私でも郷土美深、又は東京美深会の為に何かできるのではとの思いから、この度理事に就任した次第です。

私たちが子供の頃、美深の人口は15、600人でしたが、今は4、000人を割っているとの事。少子高齢化と過酷な美深の天候によるものと思われます（夏は+35度、冬は-35度）。

一方、最近は再三「道の駅」等で取り上げられているチョウザメの「キャビア」が、発展の余地がある多分にあると思われます。

その後は道職員となり、間もなくして埼玉県所沢市出身の女性と結婚をしてからは家族で道内各地を転勤しておきましたが、60歳の定年と同時に所沢市に移り住みました。

現在は、自宅で行政書士事務所を開いており、遺言、相続手続更には生活相談などを通じて地域の皆さんと交流をしておりますので大変有意義に過ごさせていただいております。

東京美深会は古里と縁のある方との楽しい集いですので、まだ参加をしていない方は是非一緒に参加して美深を盛り上げませんか。

理事 高橋 猛



私は、昭和26年8月生まれで今年は6回目の年男です。

美深には、当時「道立サケマス水産孵化場」が有りましたが、その近く（東6線1号）に生まれて同所で18年間住んでいました。

小学生の頃は、孵化場の敷地内で秘密基地（？）を作ったり、川西の美深公園や仁宇布発電所へと美深町内を縦横無尽に自転車で走り回っていたことが楽しく思い出されます。

その後は道職員となり、間もなくして埼玉県所沢市出身の女性と結婚をしてからは家族で道内各地を転勤しておりましたが、60歳の定年と同時に所沢市に移り住みました。

東京美深会役員一覧									
会長	佐藤 悅啓	副会長	野口 佳一	副会長	中里 早苗	副会長	桑原 良一	顧問	（美深町議会）
監事	鳥羽 博之	監事	元木 昭秀	理事	新貝 清	理事	大内 一峰	四代会長	鈴木 武昌
監事	高橋 猛	理事	大賀 圭治	理事	三島 研二	理事	奥村 幸子	五代会長	相談役（東京美深会）
相談役	清水 美智代	相談役	森下 真弓	相談役	田村 一郎	相談役	高橋 忠二	六代会長	元木 昭秀
相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	七代会長	（東京美深会）
社長	相談役	（高嶺書房）	（学校法人日本大学）	（学校法人日本大学）	（高嶺書房）	（学校法人日本大学）	（学校法人日本大学）	八代会長	（東京美深会）
監事	相談役	田崎 實	田村 樂一	田村 樂一	鳥羽 博之	田村 樂一	田村 樂一	九代会長	（東京美深会）

顧問（美深町）
町長 草野 考治

顧問（美深町議会）
議長 南和博

第27回 「北海道あの町・この村・この味覚産直フェア」

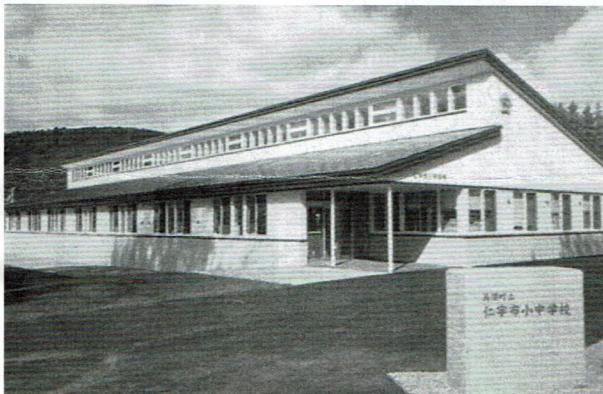
北海道ふるさと会連合会 / 運営、北日本公告社 / 主催の産直フェアが、9月28日(木)から10月1日(日)までの4日間、代々木公園内で開催されます。

北海道直送の海、山の幸等をお楽しみいただけますので、是非ご家族でお立ち寄りください。

(最寄駅は、JR原宿駅より、徒歩5~6分)

山村留学制度

山村留学制度について(美深町立仁宇布小中学校)



美深町立仁宇布小中学校の子ども達は、地域の人々とふれあい、大自然の中で、様々な経験を通して、豊かな心や生きる力を身に付けています。小さな地域だからこそ、人と深く関わることを学び、一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかな指導で潜在的な可能性を伸ばしていきます。校舎は令和3年4月に改築され、新しくなりました。全国から、留学生として仁宇布小中学校で学ぶ児童生徒を募集しております！

募集について：小学1年生～中学3年生

- ホーム留学～寄宿舎生活(中学生のみ)
- 親子留学～家族での生活(公宅を斡旋)

問い合わせ先：美深町立仁宇布小中学校

大橋 教頭

TEL：01656-2-4003

FAX：01656-2-3917

Eメール：nippu@sweet.ocn.ne.jp

編集後記

コロナ禍も収まりつつあり、マスク着用のない生活にも徐々に慣れてきた頃と思います。しかし、油断は禁物です。ワクチン接種と、各人の自己管理の中でウィズコロナと共に、当面は頑張りましょう。

(佐藤)

ふるさと納税制度

「ふるさと納税」とは、新たに税を納めるものではなく、ふるさとへの寄付金のことで、個人が2,000円を超える寄付を行ったときに、住民税と所得税から一定の控除を受けることができる制度です。

例えば、東京都Aに住む人が美深町に「ふるさと納税」として寄付すると、東京都Aへの住民税は税額控除により減額され、美深町に税金を納めたのと同じようなことになります。

ただし、寄付金控除を受けるには、寄付をした方が美深町が発行する領収書を添付して、確定申告する必要があります。

「ふるさと納税」は、納税者が税金の納付先や使い道を指定できる、画期的な制度です。

お問合せ：美深町役場総務課企画グループ

TEL：01656-2-1617 (直通)

FAX：01656-2-1626

情報 BOX

・ 東京美深会

第30号と変更なし

(令和4年7月30日発行)

※ 詳細はホームページをご覧ください。

・ 美深町

町長交代(任期満了に伴い)

新町長 草野 孝治

・ 北海道ふるさと会連合会

第30号と変更なし

(令和4年7月30日発行)

・ 札幌美深会

第30号と変更なし

(令和4年7月30日発行)